

この写真は田口哲氏より提供頂いた写真です。

県域 準絶滅危惧



福井県内の河川では近年サケの遡上が多くなった様に思える。県内に広く分布。オス。田倉川産

サケ科 サケ属

【全長】80cm

# サケ

学名: *Oncorhynchus keta*

## 分布域

島根県以北の日本海側と千葉県以北の太平洋側に分布する。

## 生息域

成長の段階で生息環境が変わり、広範囲で視られる。



3月頃、稚魚が多く視られる。北潟湖産

福井県では、10～11月に産卵された卵は発眼卵の状態越冬。稚魚は2～3月に礫底から脱出し、河口部や汽水湖などに集まる。体形は細長く、パーマークは小さく数が多い。4～5月に全長5～8cmでスモルト化し沿岸部に移動。全長10cm前後に成長し沖合に移動する。4～5年を海での回遊生活を送り大きく成長する。遡上期には体色が黒化し淡紅色を混えたブナの樹皮に似た模様が現れる。成熟したオスは上顎がかぎ状に曲がる。臭覚をたよりに生まれた河川に遡上(母川回帰)する。産卵場所は河川中流域の浅瀬、砂礫底で湧水の染み出す場所で、ペアとなって産卵しその一生を終える。

## 在来種

## 回遊魚

※ 最近ではサケの遡上数が増えた様に感じる。稚魚期や降海時期・遡上時期・産卵時期などは、その年の水温などによって比較的变化する。